

報道機関各位

## 財団法人東北活性化研究センター

### 「企業間等連携支援事業」における助成先決定のお知らせ

財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力(株)会長）では、「知をつなぎ、地を活かす」を活動理念として、総合的な地域整備や地域・産業活性化に関する調査研究、プロジェクトの発掘・支援などを通じて東北地域の活力向上と持続的な発展に寄与することを目指し事業活動を展開しております。

こうした一環として、平成20年度より東北地域のものづくり力、イノベーション創造力をより高めることを目的として、企業間、産業集積地域間等で行われる研究会及び展示会等への共同出品など、連携交流の様々な活動を幅広く支援(助成)する「企業間等連携支援(助成)事業」を、実施しております。

平成23年度につきましては、東日本大震災によります被災地(岩手県、宮城県、福島県)の速やかな産業の復旧・復興の一助として、従来の支援事業に加え、「地域産業復旧・復興支援事業(Bタイプ)」を新たに追加いたしました。

この度、「企業間等連携支援事業選考等委員会」による厳正な審議の結果、「企業間等連携支援事業(Aタイプ)」及び「地域産業復旧・復興支援事業(Bタイプ)」の助成先が次の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### ○企業間等連携支援事業(Aタイプ)

応募件数：16件 採択件数：9件

県別の件数) 岩手県3件、秋田県2件、山形県2件、福島県1件、新潟県1件

##### ○地域産業復旧・復興支援事業(Bタイプ)=新設支援事業

応募件数：37件 採択件数：29件

県別の件数) 岩手県7件、宮城県16件、福島県6件

なお、支援事業の概要は添付資料のとおりです。(助成の上限は30万円/件となります。)

- ・平成23年度企業間等連携支援事業(Aタイプ)採択一覧
- ・平成23年度地域産業復旧・復興支援事業(Bタイプ)採択一覧表

#### 【お問い合わせ先】

財団法人東北活性化研究センター 地域・産業振興部(担当：佐々木、橋本、熱海)

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目9-10 セントレ東北9階

TEL 022-222-3357 FAX 022-225-0082

平成23年度 企業間等連携支援事業(Aタイプ) 採択一覧表

| 番号 | 県  | 申込者   | 事業名   | 事業の目的・内容  |
|----|----|---|---|---|
| 1  | 岩手 | 財団法人<br>岩手県南技術研究センター<br>(一関市)                 | 地域企業連携促進事業  | 管内の企業においては人材育成、技術開発などへの問題を抱えている企業が多く、産学官が有する知識やノウハウを組み合わせた課題解決に向けた相互の情報交換を行い、技術力・競争力の強化の促進を図る。このため、企業情報交換会及び産学連携促進のための講演会を開催する。                     |
| 2  | 岩手 | 岩手ひらいずみ<br>通訳・ガイドの会<br>(西磐井群平泉町)              | 2011全国通訳案内士地域連携in<br>白石・蔵王実施事業                            | 東北地域への外国人観光客は益々増大すると見込まれている。そうした中、外国人に日本の良さ、文化を伝える通訳案内士の役割は極めて重要となっている。このため通訳士が、地域観光関連事業者との懇談・連携、新観光ルート等促進のための活性化を図る。                               |
| 3  | 岩手 | INS「海と社会」研究会<br>久慈支部<br>(久慈市)                 | 久慈地域企業群の<br>有機的連携強化研究会                                    | 産学官連携といった既存の枠組みを越えた連携体の成功例学習し、経営資源等を共有した事業展開の可能性を探り、雇用促進を図る。このため、企業経営者や研究者等を招聘し、企業群が効率的に連携し合う手法のための研究会を開催する。  |
| 4  | 秋田 | 男鹿市商工会<br>(男鹿市)                               | 地域資源「男鹿ハタハタ」を活用した<br>冬季誘客のための産業間等連携シ<br>ンポジウム開催事業         | 冬季期間の観光資源の発掘と魅力向上を図るために男鹿ハタハタを共通の地域資源と位置付け、ハタハタをテーマとした交流会及び企業間連携と地域振興への対応を図る。このためシンポジウム・展示会等を開催し企業・団体、農林漁業関係者等の知恵を活かした新たな事業連携を行う。                   |
| 5  | 秋田 | 特定非営利活動法人<br>秋田内陸線沿線地域<br>エコミュージアム会議<br>(仙北市) | 沿線地域ネットワーク促進事業  | 三セク鉄道の秋田内陸線は沿線の人口が減少し、厳しい経営環境にあり廃止の議論となっている。住民参加の連携づくりの促進を図り、内陸線の利用促進を促し生活圏の異なる沿線周辺地域の情報の共有化と、住民参加の地域間交流と情報の蓄積とネットワーク構築のためのワークショップ事業を開催する。          |
| 6  | 山形 | 特定非営利活動法人<br>Y-MOTネットワーク<br>(米沢市)             | 地域連携・活性化事業  | 地域産業界に対して、企業・産業に課題解決型のサービスを提供する事業を行い、広域的な産業の活性化、雇用の創出の促進を図る。新しい技術情報の提供・交流による企業力の向上・地域の活性化を支援のための交流事業を行う。  |
| 7  | 山形 | 山形県立米沢工業高等学校<br>(米沢市)                         | 人づくり、ものづくり連携促進事業  | 車椅子利用者にとり、暗闇の環境下での利用は、安全面からの行動範囲が制限され大きな課題となっている。安全性、利便性、視認性の良い車椅子の照明装置の開発が必要である。大学や地域の中小企業、福祉施設と連携し、それぞれの知識や能力を組み合わせ、地域のものづくり人材育成及び産学の新しい連携促進を図る。  |
| 8  | 福島 | 会津漆器協同組合<br>(会津若松市)                           | 育て次世代『JAPAN』の匠<br>連携プロジェクト<br>(1)シンポジウム開催事業<br>(2)展示会開催事業 | 後継者育成のため福島ハイテクプラザ会津若松技術支援センター内に「技術後継者訓練校」を設置し育成に努めている。漆器産業は衰退しつつあり、若手の作り手たちの継続的育成が課題である。人材育成の取り組みとして関係機関・学校等が一堂に会しての事業としてシンポジウムを開催し新たな事業方針のヒントをつかむ。 |
| 9  | 新潟 | ほっとにっぽん<br>(村上市)                              | ほっとにっぽんプログラム  | 交流を図り、人間同士の「絆」を強め、県や行政を越えた、共に活動するネットワークを構築する。広域的交流を図り、情報交流拠点づくりと地域資源の掘り起こしのための勉強会・講演会の開催を行う。  |

平成23年度 地域産業復旧・復興支援事業(Bタイプ) 採択一覧表

| 番号 | 県  | 申込者                                   | 実施事業者   | 事業名                                      | 事業の目的   |
|----|----|---------------------------------------|---|--|---|
| 1  | 岩手 | 株式会社北上オフィスプラザ<br>代表取締役 齋藤 伸<br>(北上市)  | 株式会社北上オフィスプラザ                                 | 被災地外からの被災企業への機器の無償貸与における運送による産業復旧・復興支援事業 | 岩手県内の被災モノづくり企業は、再建できない企業が多く見られ、地域産業活性化や雇用の確保の観点からも大きな課題となっている。このため、会津若松ネットワークフォーラムから、震災被害を受けた岩手県内のモノづくり企業に対し、設備の無償支援事業及び設備マッチング事業を行う。             |
| 2  | 岩手 | 岩手県野田村<br>村長 小田 祐士<br>(九戸郡野田村)        | 株式会社のだむら                                      | 野田塩生産再開事業                                | 野田村では、古来から海水を鉄鍋で煮る「直煮製塩」による塩づくりが盛んで、野田塩は村の代表的な特産品である。野田塩の製造設備が津波により流失したため生産再開が急務となっている。製造設備の計画があり、新たな製造方式により生産される塩の成分分析事業と、販売促進のためのリーフレット作成事業を行う。 |
| 3  | 岩手 | 岩手県商工会連合会<br>会長 千葉 庄悦<br>(盛岡市)        | 岩手県商工会連合会                                     | 沿岸被災商工会商工業復興ビジョン検討委員会事業                  | 震災により壊滅的な被害を受けた4市町村(陸前高田、大槌、山田、野田村)の商工業の復興を図るため、これからの地域商工業・商工会の在り方について具体的な検討を行い、商工業復興ビジョン検討委員会を設置、県・市町村へ提言を行う。                                    |
| 4  | 岩手 | 岩手県機械金属工業協同組合連合会<br>会長 谷村 久興<br>(盛岡市) | 岩手県機械金属工業協同組合連合会・社団法人岩手県工業クラブ                 | 東日本大震災復興支援活動事業                           | 震災で被害を受けた企業へ事業の立ち直りを支援するため、被災事業所に対し設備機械や工具、事務用品等をマッチング及び支援事業を行う。  |
| 5  | 岩手 | 釜石商工会議所<br>会頭 山崎 長也<br>(釜石市)          | 釜石商工会議所                                       | 仮設店舗支援事業                                 | 仮設店舗入居者に対して、円滑な経営を支援するため、運営管理及び企業者への相談会開設のための、設備整備事業。   |
| 6  | 岩手 | 北上ネットワーク・フォーラム<br>代表 小原 学<br>(北上市)    | 北上ネットワーク・フォーラム                                | 沿岸ものづくり支援事業(釜石・大槌)                       | 被災地企業へのものづくり企業の復興支援事業として大型の工作機械及び設備機器の運送支援事業。   |
| 7  | 岩手 | 陸前高田商工会<br>会長 阿部 勝也<br>(陸前高田市)        | 居酒屋 車屋酒場<br>中華料理 熊谷                           | 備品・倉庫購入事業                                | 震災により市街が壊滅し、飲食店のほとんどが営業できない状況にある。飲食店を開店することにより、地域のにぎわい、復興への一助なる設備の整備事業。   |
| 8  | 宮城 | 社会法人はるかぜ福祉会<br>理事長 東海林 和博<br>(岩沼市)    | 社会法人はるかぜ福祉会                                   | ①保育環境整備事業<br>②保育備品整備事業                   | 被災した保育所の児童40名を受け入れ、当初想定していた児童数より大幅に児童が増えた為、保育環境整備事業及び保育備品整備事業を行う。   |
| 9  | 宮城 | みやぎ優れMONO発信事業<br>実行委員会<br>(仙台市)       | みやぎ優れMONO発信事業<br>実行委員会                        | みやぎ優れMONO発信事業                            | 県内の優れた工業製品を「みやぎ優れMONO」として認定し、認定企業並びに認定を目指す企業への技術、経営、販売等に係る様々な支援を行う。このため、被災し低迷した認定企業の販売拡大をはかるために、産業交流展への出展・発信事業である。                                |
| 10 | 宮城 | 仙台商工会議所<br>会頭 鎌田 宏<br>(仙台市)           | 仙台商工会議所                                       | 名古屋・仙台商工会議所<br>被災事業所支援事業                 | 震災で被害を受けた仙台商工会議所エリア(仙台市内)の中小・小規模事業者の事業の立ち直りを支援するため、被災事業所に対し遊休製造工作機械をマッチング及び支援事業を行う。   |
| 11 | 宮城 | 宮城県商工会議所連合会<br>会長 鎌田 宏<br>(仙台市)       | 仙台商工会議所                                       | 名古屋・宮城県下商工会議所<br>被災事業所支援事業               | 震災で被害を受けた宮城県商工会議所エリア(宮城県内)の中小・小規模事業者の事業の立ち直りを支援するため、被災事業所に対し遊休製造工作機械のマッチング及び支援事業を行う。  |
| 12 | 宮城 | 宮城県商工会議所連合会<br>会頭 鎌田 宏<br>(仙台市)       | 仙台商工会議所                                       | 宮城県下被災事業所に対する<br>OA事務機、<br>製造工作機械支援事業    | 震災で被害を受けた東北地方の商工会議所エリアの中小・小規模事業者を支援するため、全国各地の商工会議所と連携を図り、被災事業所に対しOA事務機、遊休製造工作機械を支援する事業である。  |
| 13 | 宮城 | 東北六県商工会議所連合会<br>会長 鎌田 宏<br>(仙台市)      | 仙台商工会議所                                       | 岩手県県下被災事業所に対する<br>OA事務機、<br>製造工作機械支援事業   | 震災で被害を受けた岩手県下の商工会議所エリアの中小・小規模事業者を支援するため、全国各地の商工会議所と連携を図り、被災事業所に対しOA事務機、遊休製造工作機械を支援する事業である。  |
| 14 | 宮城 | 塩竈市産業環境部商工港湾課長<br>(塩竈市)               | 仮設店舗運営管理組合 I<br>仮設店舗運営管理組合 II<br>(各仮称)<br>塩竈市 | 仮設店舗開設に係る運営・管理事業                         | 震災で被災を受けた地域商工業の復旧・復興のため、被災した会社、商店を対象に仮設店舗を開設、運営、管理するための設備整備事業である。   |
| 15 | 宮城 | 一番街商店街振興組合<br>理事長代理 島田 英樹<br>(気仙沼市)   | 一番街商店街振興組合                                    | 気仙沼まちなか復興支援隊事業                           | 被災した気仙沼市中心部の商店街メンバーが中心となって、旧市街地エリアの復興まちづくり構想の検討と関連する各種事業を展開する。  |
| 16 | 宮城 | 仙台筆筒協同組合<br>代表理事 湯目 一深<br>(仙台市)       | 仙台筆筒協同組合                                      | 仙台筆筒の技術を応用した<br>海外向け新製品開発事業              | 仙台筆筒の構成要素である木地、漆、金具は、長い歴史で培われた繊細で高度な技術を活用した、海外向け商品の開発を展開し、技術継承を図り、新たな販路・顧客の獲得を目指し、被災した職人・企業の復興事業を行う。  |
| 17 | 宮城 | 宮城県経済商工観光部<br>新産業振興課長<br>(仙台市)        | みやぎ高度電子機械<br>産業振興協議会                          | 大規模展示会出展事業                               | 首都圏において開催される大規模展示会に出展し、「みやぎものづくり企業」が企業の復旧・復興を全国にPRし、県内企業の取引回復(拡大)、販路開拓のための事業を行う。  |

| 番号 | 県  | 申込者  | 実施事業者                                 | 事業名   | 事業の目的  |
|----|----|--|---------------------------------------|---|--|
| 18 | 宮城 | 特定非営利活動法人<br>おおさき地域創造研究会<br>白旗 成典<br>(大崎市)         | 海の手山の手ネットワーク                          | 被災者の仕事づくりと連携した<br>経済復興プロジェクト  | 陸前高田及び女川からの2次避難者である方(海の手)の「力」と、山側大崎の農業者、食品加工業者、NPO(山の手)がネットワークを使い共に良くするための仕組みを組織して、今後の販路拡大等及び仮設住宅の被災者の手仕事従事拡大と生産管理のための支援事業である。 |
| 19 | 宮城 | 塩竈蒲鉾連合商工業協同組合<br>理事長 阿部 善久<br>(塩竈市)                | 塩竈蒲鉾連合商工業協同組合                         | 塩竈蒲鉾会PRと塩竈(地産)の蒲鉾<br>販売復旧復興事業   | 柏市の被災地支援事業の一つとして開催される展示即売会への出展を行い、震災・津波後の塩竈蒲鉾会の1日も早い復旧・復興に向けた販路拡大の推進と復興PR事業を行う。  |
| 20 | 宮城 | 社団法人みやぎ工業会<br>会長 川田 正興<br>(仙台市)                    | 社団法人みやぎ工業会<br>情報委員会                   | 震災復興特集号の発行  | みやぎ工業会会員企業(約400数社)が3月の東日本大震災から復旧・復興しつつある状況を、会員全体に、更には各顧客を含む他地域にも配布し、宮城県のものづくり企業の復興PR事業である。                                     |
| 21 | 宮城 | 社団法人みやぎ工業会<br>会長 川田 正興<br>(仙台市)                    | 社団法人みやぎ工業会                            | 放射能測定器の購入・貸出  | みやぎ工業会会員企業において、環境測定や出荷製品等の放射能測定が要求される事態も出てくるものと想定されるので、会員の便宜を図るため、工業会として関連する測定機器を一括購入し、必要に応じ会員に貸し出事業を行う。                       |
| 22 | 宮城 | 仙台高等専門学校<br>校長 内田 龍男<br>(名取市)                      | 仙台高等専門学校<br>建築デザイン学科造形研究室<br>准教授 永山広樹 | 名取市貞山運河の観光産業復興構<br>想<br>提言調査研究事業  | 震災後の貞山運河や周辺施設(仙台空港・仙台空港アクセス鉄道線、漁港)と共に現状を踏査を実施して再度観光資源としての調査研究を行い、名取貞山運河の観光産業復興構想を作成・提言を行う。                                     |
| 23 | 宮城 | 玉造商工会<br>会長 館股 秀隆<br>(大崎市)                         | 玉造商工会                                 | 「玉造 こころの味」プロジェクト<br>①被災者の心の支援事業<br>②集客増加事業<br>③企業マッチング事業を目的とした<br>イベントを開催 | 南三陸町をはじめとする震災被災者を受け入れ、被災者のストレス等精神的な支援を行う。地域の活性化及び商工業者の経営支援のためのイベントを開催事業。   |
| 24 | 福島 | ふくしま復興<br>「道の駅・空の駅まつり」実行委員会<br>会長石森 春男<br>(石川郡玉川村) | ふくしま復興<br>「道の駅・空の駅まつり」<br>実行委員会       | ふくしま復興「道の駅・空の駅まつり」  | 福島空港国際貨物施設内において県内の道の駅等の特産品の展示、販売及び全国・東北の道の駅の物産の展示、販売並びにあぶくま高原鉄道PRと利用促進事業及び福島県の観光復興発信事業を行う。                                     |
| 25 | 福島 | 公立大学法人会津大学<br>理事長 角山 茂章<br>(会津若松市)                 | 会津大学短期大学部<br>地域活性化センター                | 元気をだせ！<br>クラフトマンin福島プロジェクト<br>①セミナー開催<br>②ワークショップ開催事業                     | 様々な分野のクラフト産業が連携し、具体的な技術と企画力などのレベルアップを図り、「元気なふくしま」を世界に向け発信し、各々の分野や連携した分野において商品開発を行い、販路拡大をおこなう。                                  |
| 26 | 福島 | 特定非営利活動法人ITCふくしま<br>理事長 佐藤 直美<br>(いわき市)            | 特定非営利活動法人<br>ITCふくしま                  | 「活かせ！ 淡路大震災の教訓、<br>ふくしまの中小企業」<br>交流会開催事業                                  | 阪神・淡路大震災を経験した神戸地区の中小企業と福島県浜通り(いわき市周辺)の企業が交流し、企業の復興のヒントをつかみ再建のための支援を行う。   |
| 27 | 福島 | 社団法人福島青年会議所<br>理事長 宮崎 秀剛<br>(福島市)                  | がんばろう！ふくしま<br>「復興やきとりまつり」<br>実行委員会    | がんばろう！ふくしま<br>「やきとりで地域を元気に」   | 福島県内の名物地鶏を使った丼物など新メニューを開発し、福島県民を元気に、福島県の魅力を全国に発信し、会津地鶏、伊達鶏、川俣シャモなどの県固有の地鶏の種の保護と継承を目的し、地域振興をのための支援事業を行う。                        |
| 28 | 福島 | いわき市長 渡辺 敬夫<br>(いわき市)                              | 社団法人いわき産学官ネット<br>ワーク協会                | 産業復興に向けた再生可能エネ<br>ルギーの推進と地域の活性化に係る<br>セミナー開催事業                            | いわきの資源を活かした再生エネルギーの推進による産業復興に有効なエネルギーの講演・意見交換を行い、いわき市の復興計画の策定及び推進事業をおこなう。  |
| 29 | 福島 | 会津産業ネットワークフォーラム<br>代表 小椋 庄二<br>(会津若松市)             | 会津産業ネットワークフォー<br>ラム                   | 岩手県ものづくり企業復興支援事業  | 北上オフィスプラザから、同県ものづくり企業の復興に向けた支援依頼を受けて、会津産業ネットワークフォーラム(ANF)の会員企業に協力を呼びかけ、各社で保有している機械加工設備、加工工具、什器備品、事務用品等を支援する。                   |